

塩づくりの体験会



6月25日(日)須ノ上八重潮の浜で海水を薪で焚いて、天然塩をつくる体験会を行いました。当初島外から30名が参加する予定でしたが、天候不順のためイベントとしては中止し、地元の有志を中心に行いました。

この日採れた塩はいずれも海にゆかりの深い、須ノ上蛭子神社と糸崎神社に奉納しました。今後も地域資源の再認識と島内外の交流促進を目的に継続して参りますので、ご協力宜しくお願い致します。

八重潮の会

和霊石地蔵講演会開催される



7月22日(土)地蔵祭りに併せて、山川均氏(大和郡山市教育委員会・日本考古学協会関西支部志部長)による和霊石地蔵講演会がサギ・セミナーセンターで開催されました。

参加者75人(内島外35名・島内40名)と関心の高さが伺えます。約2時間近くの講演内容についても大好評で、居眠りをするような人は誰1人おらず、熱心に聞き入り、メモを取る人もたくさんいました。終了後、現地を訪れ、地蔵と対面し詳しい説明がありました。和霊石地蔵の損傷は、日に日に増しており、どのような方法で保存したらよいか、意見が交わされました。剥離の要因は、毎日海水に浸かることであり、海水に浸からない方法を(地蔵を動かす・護岸を築き海水を入れない・現在地で地蔵を持ち上げる)検討する必要があります。その後、地蔵祭りに参加された人もあり、有意義な1日となりました。

700年の悠久の時を超えて語りつがれてきた和霊石地蔵を後世に残すためにも、佐木島の宝として、地元の御守地蔵として保存活動を進めて参ります。

保存会事務局 山本善宣

ニュージーランドから市長ら訪問



7月24日(月)パーマストンノース市のグラント・スミス市長ら一行4名がさぎしまを訪問しました。交流のきっかけになった「友好の森」を視察した後、鷺浦小学校を訪れ児童たちと英語で交流しました。10名の児童は、自己紹介の後抹茶の接待、和太鼓の演奏でもてなし、ハイライトはニュージーランドの小学校とスカイプによるテレビ電話での交流を行い、スミス市長もニュージーランドの小學生に「日本に来てるよ」とメッセージを送っていました。港では「キ・オ・ラ」と大きな声で叫びながらフェリーが見えなくなるまで手を振ってお別れしました。